

事業計画書

| | |
|-----|-----------|
| 事業名 | 河原塚史編纂事業 |
| 団体名 | 河原塚史編纂委員会 |

取組むテーマ

松戸市河原塚には、1,100年ほど前に、すでに熊野神社があり、住民が平安時代に盛んだった熊野詣に旅していたと言い伝えられている。本勝寺は700年前につくられたという。

また、5基からなる河原塚古墳群がいまも残っている。市内の古墳群は、小金と河原塚だけであり、貴重なものだ。

ところが地域には、歴史をまとめた書物や古文書などはない。

一方、住民は高度成長期の都市化で、97パーセントが地方出身者で占めている。多くは昼間東京方面に通勤し、夜、寝に帰る「千葉都民」である。

そういうなかで、住民に、自分たちの住む地域の歴史を調べ、伝えていく。

事業の目的

「地域づくり」は、住民の地域への愛着があつてこそ可能だ。そのためには、多くの住民が、自分たちの地域の歴史を知り、地域の良さを知ることが大事だ。

代々住んでいる人たちも含めて、自分たちの住んでいる地域の歴史を伝え、地域への愛着を持ってもらうことで、地域づくりの基礎的な力をつくっていく。

事業内容

河原塚の歴史を、さまざまな文献や報告書、お年寄からの聞き取りなどで調べ、テーマごとにまとめて4つの町会の回覧板に、毎月1回のせて、成果を全住民に提供している。テーマは35回分ほどあり、平成26年1月から回覧を開始し、今年度で15回分が終わる。

27年度は、引き続き毎月1回、つぎのテーマにまとめて回覧する。

4月＝本勝寺の歴史。本殿建立、住職のこと、檀家、墓地

5月＝田中新田の開発と八柱霊園。霊園から出た財天様

6月＝農業の移り変わり

7月＝地図や写真で見る昔の河原塚 京成分譲地の昔の風景

8月＝南山地域の宅地開発

9月＝いまも活躍する井戸水

10月＝河原塚小学校と中学校の新設

11月＝2つの区画整理。咲美台はバブル崩壊でも成功した

12月＝武蔵野線建設、337号線建設

1月＝新京成電鉄のコース。霊園前の駅が常盤平に 通勤、通学のエピソード

2月＝河原塚消防団のこと

3月＝戦争で受けた被害。矢野家のこと。神社の木々も被害

このうち9月分ぐらいまでは、今年度中に調査し、原稿にまとめておく。したがって27年度の具体的作業は、残り6回分についての調査・執筆と、28年度中に回覧する分の調査・執筆となる。また、回覧完了の段階で冊子にまとめるので、27年度後半はそのための編集作業も並行しておこなう。

事業の目標

昨年3月に編纂委員会を設立して、合計約35回のテーマをあげて、順次調査し、まとめている。現在16回分の原稿ができて、うち10回分（10月現在）が回覧を終えた。引き続き、来年分の作業をしており、ことし中に10回分程度のストックができるようにする予定だ。

一般的に、地域史まとめる場合、歴史に詳しい個人が、退職後におこなうことがほとんどだが、私たちは、町会長経験者を中心に、地域の有力者で編纂委員会を設立して、集団ですすめているのが特徴だ。

事業開始から約1年半、きわめて順調にすすんでいる。現状では、事業に支障が出るようなことはない。

今後の展望

回覧開始後、「知らないことがいっぱい出ていて、面白い」「つぎに来るのが楽しみ」などの反響があり、たくさんの方々が「大事なものだから、毎回コピーして保存している」といっている。

好評だが、回覧板で流すだけだと残らないので、最終的には冊子にして末永く後世に残す。冊子は希望者に無償提供する。町会の回覧板で希望者を募るが、いまのところ保存用も含めて1,000～1,500冊を考えている。行政機関や教育機関にも贈呈する。

回覧の印刷は、矢切の市民活動サポートセンターでおこなっている。冊子の印刷も同所でおこない、製本だけを業者に出すことにより費用を抑える。

住民が、自分たちの地域のことを知ることにより、地域がまとまり、助け合い、町会の活動にも関心をもって参加する、そういう地域をつくっていきたい。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

| 科目 | | 金額 | 積算内訳 |
|-----------------|--------------------------------|----------|----------------|
| 団体 | 団体からの寄付 \sum | ¥8,600 | 河原塚の4つの町会から予定 |
| | 自己資金合計額 (a①) | ¥8,600 | - |
| | 事業費収入額 (a②) | ¥0 | |
| | 団体より拠出金 (対象外経費分) (a③) | ¥38,500 | 対象外経費を団体会計より拠出 |
| | 自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③ | ¥47,100 | |
| | 市 市民活動助成金 (B) | ¥77,400 | |
| 合計額 (C) = (A+B) | | ¥124,500 | |

【支出】

| 科目 | | 予算額 | 積算内訳 |
|-----------------|---------------------|----------|-------------------------|
| 助成金の交付対象経費 | 印刷費 \sum | ¥6,000 | 回覧板を12回印刷×200円。ほか、コピー代 |
| | 消耗品費 | ¥77,000 | 用紙代、インク代、封筒代、ファイル代、印画紙代 |
| | 通信費 | ¥3,000 | 郵送代 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | 対象経費の合計 (D) | ¥86,000 | |
| その他経費 | 委員食事代 | ¥25,000 | 編纂委員会開催時の食事代一部補助 |
| | その他 | ¥13,500 | 資料代、交通費、研修費 |
| | その他経費の合計 (E) = (a③) | ¥38,500 | |
| 合計額 (F) = (D+E) | | ¥124,500 | |

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。